

成田西子供園の教育目標

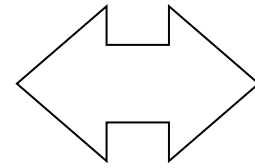
【心身共に健康で、自ら考え主体的に遊びや生活に取り組むことができる幼児の育成を目指し、次の目標を制定します。】

- げんきな子
- ◎ かんがえる子
- 自分も人も好きな子

「みんなのしあわせを創る杉並の教育」

～杉並区教育ビジョン2022の具現化を目指して～

- 「共に尊重し大切にしたいこと」を踏まえた教育活動の展開
 - ◇ 学び合い、信頼をつくり、共に生きる
 - ◇ ちがいを認め合い、自分らしく生きる
 - ◇ 誰もが社会の創り手として生きる



成田西子供園のしあわせをつくる

「子どもが 子どもらしく」 育ち合い

一人一人が自分らしさを発揮する

- 遊びを通して、様々なことを学び、生きる力の基礎を培います。

～共感とつながりを大切に～

- ・ 就学教育支援センターとの協働研究
- ・ 杉二小学校
- ・ 子ども子育てプラザ成田西
- ・ 地域との交流や伝統文化の鑑賞
(運動遊び・獅子舞・お琴鑑賞・国際交流)

成田西子供園の経営方針

- 幼児、保育者、保護者がコミュニケーションをとり、信頼やつながりを築きます。
- 業務支援システムを活用し、園の教育・保育のねらいや幼児の育ちをわかりやすく発信し、保護者と理解と共感を深めます。
- 幼児が身近な環境に主体的に関わり、直接的・具体的な体験をしながら遊び込む中で、生きる力の基礎（知識及び技能の基礎・思考力、判断力、表現力の基礎・学びに向かう力。人間性等）を育みます。
- 自分の思いや考えを表していく中で、相手の思いに触れたり、言葉で伝え合ったりできるようにし、友達と一緒に活動する楽しさを味わう体験を通して、人と関わる力を育てます。
- 幼児一人ひとりが自分らしさを出しながら、主体的に遊びや生活に取り組む中で、自他の違いや多様性を互いに認め合うことができる温かい関係を築き、自分も人も大切にできるようにする。
- 園庭環境近隣公園を活用し、自然と出会い身近な動植物に触れ、夢中になって遊ぶ中で様々な試行錯誤体験や気づきを繰り返し豊かな感情体験を味わい、好奇心探究心を培います。
- 近隣への散歩や園庭、ホール、屋上など、それぞれの特性を生かした運動遊びの環境を計画的に工夫して取り入れ、幼児が体を動かす心地よさを感じる中で、多様な動きを経験できるようにする。
- 新たな気づきや体験の振り返り、共有のためにICTを補完的に活用、幼児の生活体験がより豊かになるようにします。
- 特別支援コーディネーターを中心に、園内支援体制の充実を図り、温かい学級経営を行う中で、個々の特性に応じた指導及び組織的な支援を行い、幼児の中で育ち合えるようにします。
- 杉並第二小学校と共に計画を立てる中で、幼児の姿や発達を共通理解し、互惠性のある交流や連携が行えるようにします。
- 幼児一人ひとりの発達や行動特性を把握し、事故につながる危険を事前に予測した保育環境づくりに努めます。
- 「安心・安全な園」を目指し、災害時や緊急時の連絡体制を整え連携を図ります。また、避難訓練や安全指導を行い、園内外での安全な過ごし方や災害時の行動が分かり、自分の命を守ることを意識できるようにします。
- 栽培や栄養士による食育指導を通して、食べ物への興味・関心をもったり、食べることの楽しさや喜びを味わったりし、自ら食べようとする気持ちが育つようにします。
- なかよし広場や子育て相談、預かり保育を実施し、地域や在園児の保護者の子育て支援をします。
- 長時間保育は、落ち着いて過ごせる環境を整え、やりたい遊びを楽しむ中で、異年齢の幼児が共に過ごす楽しさを味わえるようにします。
- 就学前教育支援センターとの併設の良さを生かし、環境や援助の在り方について調査研・研究を進め、保育の充実を図ります。

- ・ キッズビューによる園だより、学年だより、日々の保育の様子、すくわく活動 配信ホームページ、掲示板による情報発信
- ・ 一時保育・園庭開放など、保護者への支援
- ・ 読み聞かせ、土づくり、保育参加など保育ボランティア
- ・ 子育て支援「なかよし広場」卒園児保護者ボランティア八重桜の会

- ・ 年長児を中心とした園内の交流
(日常の遊びを通して、運動会、子ども会、散歩、当番活動など)

成田西子供園の保育者として

- 子どものためにということを第一に考えて行動する。
 - ・ 一人ひとりを理解し、受容的・応答的に関わる。
 - ・ 子ども一人ひとりの人権、個性を尊重し寄り添う。
 - ・ 保護者と相互理解を図るように努める。
 - ・ 職員間の情報共有、チームワークを大切にする。
 - ・ 保育者が学び合い、自己研鑽に努め、専門性を高めていく中で保育力の向上に努める。
 - ・ 良好な状態で保育に向き合えるように、働き方改革に努め、心身共に健康で過ごす。
- 危機管理について、細やかで、迅速な対応を行う。
- 教育公務員として自覚と責任をもって行動する。

年齢別の指導の重点

3歳児	○ 保育者との信頼関係を基に、幼児が安心して過ごす中で、基本的な生活習慣を見につけ、自分の思いを出しながら、遊びや生活を楽しめるようにする。 <安定する・自己主張する>
4歳児	○ 基本的な生活習慣を見につけ、自分のやりたい遊びを十分に楽しむ中で、友達や保育者に親しみをもち、関わり合いながら遊ぶ楽しさを感じられるようにする。 <つながる・自他の違いを知る>
5歳児	○ 主体的に遊びや生活を進める中で、一人ひとりが十分に自己発揮し、友達との関わりの中で認め合ったり、共通の目的に向かって協力したりする充実感や達成感を味わえるようにする。 <支える・自己調整する>